

国土審議会第8回半島振興対策部会議事概要

1. 日 時 平成26年4月24日(木) 10:00～12:00
2. 場 所 国土交通省国土政策局会議室(中央合同庁舎第2号館11階)
3. 出席者 安島部会長、沖委員、鈴木特別委員、田中特別委員、中嶋特別委員、野口特別委員、和歌山県野田企画部長(仁坂特別委員の代理)
国土交通省 苧谷審議官、木下総務課長、木下地方振興課長、金子半島振興室長

4. 議事

これまでの部会における議論をとりまとめた中間とりまとめ(案)について事務局より説明が行われた後、中間とりまとめ(案)について議論がなされた。

議論を踏まえた文面の修正は部会長に一任され、必要な修正を加えた後に公表することとされた。

主な議論の概要は以下のとおり。

半島地域は多様であり、まだまだインフラが必要な地域もあれば、既に力点が交流、連携、定住促進に移っている地域もある。

半島地域の強みを生かして振興する新しい方向性が示せていることは評価する。

半島地域の自治体が構成する3つの協議会が連名で、半島債、半島交付金が必要との決議を行っているので、留意してほしい。

半島地域の強みには、人が住みやすい気候であることや、コンパクトに集まって暮らしていることもある。

人材育成については、どのような人材を育てていくべきなのかなど、具体的なことを書いていく必要がある。

民間資金を呼び込む視点も大切だ。クラウドファンディングという考え等もある。

半島地域内で全て完結するというのは難しい。半島地域の外との連携も必要だし、資源だけではなく人材の共有も必要である。

3月末に公表された「新たな「国土のグランドデザイン」(骨子)」と比べたときに、理念については共通しているが、「攻めのコンパクト」という部分が抜けているのではないかと。今後の部会における議論のテーマとしていく必要があるだろう。

(速報のため、事後修正の可能性あります。)